

9/17 SAT 2022

YouTube 限定オンライン公開

第3回 希少がん患者 サミット

— 希少がんのドラッグラグ解消に向けて —

対象 希少がん患者・家族・遺族、
医療関係者、メディア、一般

参加費無料

私たち日本希少がん患者会ネットワークは希少がん患者の皆さんから治療薬に関する声を集めています。そこから浮かび上がる、患者が置かれている状況と、希少がんにおける治療薬の研究や開発がしにくい現状…。どうしたら薬が治療に使えるようになるでしょうか。問題はいくつもありますが、今回は特に海外で承認されているのに日本では承認されていない薬の問題、いわゆる「ドラッグラグ」にフォーカスし、解決へのいとぐちを皆で探っていきます。

こちらに声をお寄せください。
<https://voice.rarecancersjapan.org/>

PROGRAM

(詳しくは裏面をご覧ください)



下井 辰徳 先生
国立がん研究センター中央病院
腫瘍内科 医長
国際開発部門 国際診療室 室長
希少がんセンター



高田 渉 氏
日本イーライリリー株式会社
研究開発・メディカルアフェアーズ
統括本部 薬事部門長
エグゼクティブディレクター
小児がん対策国民会議運営委員



篠原 祐樹 氏
シミック株式会社
臨床事業第二本部 3部
部長



早川 穰 氏
大原薬品工業株式会社
取締役
研究開発本部長

講演1 **患者側から見たドラッグラグ問題**
西舘 澄人 RCJ 副理事長

講演2 **日本におけるドラッグラグの現状と対策**
下井 辰徳 先生

講演3 **小児がんを含む希少がんの課題**
高田 渉 氏

講演4 **海外創薬ベンチャーの動向**
篠原 祐樹 氏

講演5 **新興バイオ医薬品企業との連携について**
早川 穰 氏

パネル
ディスカッション
ドラッグラグの課題解決に向けて
ご登壇の皆様 / RCJ 眞島、西舘、馬上

要お申し込み 右下のQRコードまたは次のURLからお申し込みください。
<https://rarecancersjapan.org/summit2022/>

主催 一般社団法人
日本希少がん患者会ネットワーク

協力 公益財団法人
日本対がん協会
本事業は日本対がん協会の協力による休職預金活用事業です

休職預金
活用事業

後援 厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

国立がん研究センター
希少がんセンター

小児がん対策
国民会議

助成 公益財団法人
正力厚生会

